



長久手町文化の家  
NAGAKUTE Cultural Center

# フレンズ

No. 38

2009年9月15日発行

機関紙 フレンズ 編集部

Tel : 0561(61)3411

## フレンズのつどい Part. 21

# 雪村いづみ IN NAGAKUTE

よき昭和「三人娘」コンサート

7月26日 文化の家で

7月26日の日曜日、文化の家森のホールで「フレンズのつどい Part. 21」を開催しました。雪村いづみさんは同年代の人気歌手であった江利チエミさん美空ひばりさんとは公私共々大の仲良しでした。二人が若くして亡くなられ、その後は二人の持ち歌を積極的に歌い継ぐことから今回も「三人娘」コンサートと銘打って、聴衆の耳にもよく馴染んだ思い出の名曲がふんだんに盛り込まれ、会場に駆けつけていただいた熟年ファンの方々も、歩んできた人生を歌に重ね合わせ、感動のコンサートとなりました。

圧巻は大ヒット曲の「約束」。なつかしく聴かれた古くからのファンだけでなく、初めて聴いたという若い人も、その円熟の歌声でしんみり聴かせ、会場内にはハンカチを握り締め、思わずすすり泣く様子も…。最初のストーリーソングといわれるこの反戦歌はフォークソングを経て、今に引き継がれています。アンコール曲は、さだまさしさんが雪村いづみさんのデビュー40周年に楽曲提供した「虹〜ヒロイン〜」。雪村さんのキャリアを彷彿させる歌詞であり、名曲でした。



舞台上で熱唱する雪村いづみさん

## 円熟の歌とダンスの共演

会場の雰囲気一段と盛り上がりを見せたのは、雪村いづみさんの歌声と半田英太郎・北村理恵さんペアとのダンスの共演。大貫祐一郎さんのピアノソロをまじえ、場内を魅了しました。コンサート終了後にいただいたアンケートの内容からも、聴衆の多くは昔からの「いづみファン」の方々も多く、単なる「なつかしさ」だけでなく、「年齢を感じさせない魅力あるステージから元気をもらった…」との声が多く聞かれました。



雪村いづみさんの持ち歌に合ったダンスで共演の半田英太郎・北村理恵さん



## 会場でのお客様の声



- ★ 戦後日本が貧しかった頃、今は亡き父に連れられて行ったパチンコ屋で流れていました。当時を思い出し涙が出ました。当時の歌声は江利チエミとともに洋風文化に触れ、憧れを感じ貧しさから抜け出す向上心のBGMでした。当時の憧れがバックボーンとなり、その後の生き方につながったと思っています。(女性)
- ★ いづみさん大好きです。昔からのファンの人達と長久手まで来ました。いい所ですね長久手。このホールも素敵でした。チエミさん、ひばりさんの曲を歌われるいづみさんには涙が出そう。こんなチャンスに恵まれて幸せです。(女性)
- ★ 全部が知っている曲でなつかしくて涙が出ました。ダンスが素敵だったので、もっとたくさん踊って欲しかった。(カップル)
- ★ 昔の素晴らしい歌声を覚えていて、年齢を感じさせない頑張りで素晴らしかった。(男性)
- ★ 歌い上げる曲には少し感じるものがありますが、ゆっくり語るような曲に持ち味が発揮され、さすがというかキャリアを感じますネ。(男性)
- ★ 若い頃を思い出し、最初の曲で涙が出ました。(女性)
- ★ とっても素晴らしかったです。(小学生)

## 長久手町の組織改正から一年

# フレンドの活動は変わりますか？

7月28日役場西庁舎で、教育文化部部长の水野正志さんにフレンド会長とともに機関紙部員が話を伺いました。

文化の家フレンドの活動については「まだ、あまり詳しく知らないのでいかんけど…」と前置きをされ、穏やかな長久手弁を交えて運営方針などを聞かせてくださいました。

に進めていきたいと考えています。

**会長** 10年の活動の節目として先日「シアター マネジメント マニュアル」を発行することができました。

**部長** 活動を続けていくことが大変なのに、10年目にして課題に取り組み、まとめあげた実績は確かな実績として評価しています。活動の質が高く安心しています。

本来は事務局がつくるべきなのかもしれませんが、フレンドが作ってくれてありがたい。(笑)

**会長** フレンドの活動についての自主性は認めてもらっています。

**部長** 文化の家事務局や役場の他の部署からも、フレンドの協力は色々聴いています。自立した組織として文化の家事務局と支え合い、対等な立場を保ってお互いに機能し合う、他に類を見ないボランティア団体だと感じています。上下関係は好ましくありません。(笑)

**部員** 近隣の文化施設と比べて文化の家に望むことはありませんか？

**部長** 今の段階ではよく分かりませんが、長久手のやり方でいくのが良いと思うし、ほかの物真似ではよくないと思います。少しずつ改善は必要かもしれません。

「シアター マネジメント マニュアル」は良くできていて、町職員や学校での接遇教育に使わせてもらおうかと思うくらいです。(笑)なかなか文章化したものは無いので…。

**会長** 自信作ではありませんが、改善の余地はあるかも…。プロの指導を基に日頃の実践を加味し試行錯誤の末に、文化の家の現状に即したマニュアルになりました。

**部長** 利用者が満足している時はいいのですが、不満がある時の対応が重要になります。みなさんが日ごろトレーニングされていることが大いに役立つでしょう。

**部員** 文化の家への税金の投入については？

**部長** 開館11年を過ぎ施設も老朽化しますから建物の維持に関し、修繕の時期の5年10年先をみて費用がどれくらいかかるか試算しようとしています。

文化事業にはお金がかかります。なかなか利益を生むのは難しいと思います。現状を保っていくためには、町民のみなさんに実績を伝え理解を得るようにしたいと思います。

**会長** 鑑賞・交流事業の企画運営として「フレンドのつどい」を夏、冬、年2回開催しています。お楽しみ会としても皆さんに喜んでいただいています。

**部長** 大きな問題があればそれなりに考えなければなりません。今のところ町の組織改正によって、フレンドの役割や関係が変わることはありません。



フレンドの「シアター マネジメント マニュアル」を接遇教育に使いたいと話す水野教育文化部長とフレンド会長

いま世界が注目のアーティストも

# ステージじゃうらでは 楽しい素顔

企画・制作という仕事は、90%以上は数字やスケジュールなどの「調整」です。人間相手の仕事なので、こまかな意味では予定どおり行かないことは当たり前で、ストレスがたまることも少なくありません。その一方、現場ではステージで見ることでできないアーティストの素顔に触れることができます。

今回は担当者の立場から見たアーティストの一面をご紹介します。できればと思います。

## ピョートル・ アンデルシエフスキさんが

去る6月2日・3日の2日間、世界的なピアニストのピョートル・アンデルシエフスキさんが長久手にやってきました。

初日は愛知県立芸術大学での公開レッスン、そして翌日が文化の家での本番でした。「完べき主義者」のイメージが強かったピョートルさんが

したが、少年のように愛嬌のある笑顔で「コンニチワ」と日本語であいさつをしました。握手をしたその手はとても大きくて柔らかく、そのまなざしはどこかもつと遠くを見ているようでもありました。公開レッスンのピョートルさんは自然体で自分の考えを押し付けることはなく、その

ほとんどは「自分はこう思う」というものでした。

モーツアルトでは「オペラのキララクターをイメージしてください」、母国の作曲家シヨパンのエチュードの際にはその中間部の美しいメロディに時間を割き「これはポーランドのクリスマスソングです。子守唄だと思って弾いてください」など、弾き手のイメージネーションが広がるようなアドバイスを中心に熱のこもった指導が行われました。あつという間に2時間が過ぎ、なんとピョートルさんは

用事があるとかで、いったん東京へ戻ってしまいました。翌日の夕方に文化の家に疲れも見せず意気揚々と現れました。

## 楽屋に残った 味噌汁のお椀 ふたつ

楽屋入りするなりピョートルさんは「あぐりん村」のイチゴに目をつけ「おー！これは日本のイチゴかい？」といながら「うまい、うまい」といくつも食べていたのでした。どうやら大当たりだったようです。飲物は熱い日本茶のみ、森のホールの舞台へ行

フレンズのつどい Part. 22

# クリスマスコンサート & ティーパーティー

## ～事の音色でクリスマス～

箏 三輪知之  
フルート 石垣雅美

2009年12月5日(土)  
13:30開場  
14:00開演  
長久手町文化の家 舞踊室

入場料 フレンズ会員 1,200円(本人のみ割引)  
一般 1,500円



きピアノに触れるなり、そのまま止まることなくリハーサルに入ってしまった。スイッチの切り替えがはっきりしていていかにも天才肌、という感じがしました。リハーサルの合間には遠慮がちに「いまここで味噌汁を頼むということは、非常にむづかしいことだろうか？」と関係者を爆笑させ、館内レストランからたったひとつの味噌汁がお盆で運ばれてくることになりました。

終演後、私がトーク交流会の事前説明を終えてステージの袖に戻ると、全身全霊をつくした圧巻の演奏後にもかかわらず楽屋で休憩することなくピョートルさんがニコニコと待機していました。終電で東京へ帰るために、あわただしく文化の家をあとしたピョートルさんの楽屋には、ふたつ目のお椀が残っていたのでした。

文化の家事業係 生田創

# 室内楽の楽しみ

9月27日(日)  
14:30開場 15:00開演  
文化の家 森のホール 全自由席

前売 フレンズ・一般 400円  
当日 フレンズ・一般 500円

愛知県立芸術大学 学内オーディション合格者による多彩な室内楽の演奏をお楽しみください。

曲目:クララ・シューマン ピアノ三重奏曲

ジャン・フランセ 羊飼いの時間(夕暮れ時)

ヨハネス・ブラームス クラリネット五重奏曲

ほか

## 太宰治 生誕100年・太宰を読む ヴィヨンの妻

作 太宰治  
朗読 小関道代  
演出 はせひろいち

10月3日(土) 17:30開場 18:00開演  
4日(日) 13:30開場 14:00開演

文化の家 風のホール 全自由席

前売のみ フレンズ 400円  
一般 500円

### ベルリン放送交響楽団ソロ首席奏者

## ウルフ=ディーター・シャーフ フルートコンサート・再会

11月6日(金) 18:00開場 18:30開演  
文化の家 風のホール 全自由席

前売 フレンズ 2,500円(前売のみ)  
一般 3,000円  
当日 フレンズ・一般 3,500円

共演 ピアノ:中根浩晶 フルート:朝倉ゆき 日置智美

曲目:J・S・バッハ ソナタ ホ短調 BWV1034

ドボルザーク ソナチネ

シューベルト しほめる花によるフルートとピアノのための主題と変奏 ほか

## 編集者コラム

五線譜に音符がのれば、音の高さや長さは決まる。しかし「音の強弱は曖昧なのです」そこに指揮者としての解釈が加わって色々な表現がされる・・・と小沢征爾氏は語る。

深夜の公園に集まる若者の撃退に、高周波音を流すというニュースもありました。うるさく感じれば騒音。楽しく感じれば音楽・・・。「音」って不思議ですネ。

(萌)

9月から11月の 長久手町文化の家  
おもな催し物を紹介します

詳細は文化の家が発行する 公演案内のチラシなどを  
ご参照ください

## IRISH DAYS

No. 1

映画「Once ダブリンの街角で」

10月17日(土) 10:30開演

文化の家 風のホール

No. 2

アイルランド料理講座(要申込)

10月24日(土) 11:00～

文化の家 食文化室

No. 3

アイルッシュ・セッション

10月31日(土) 12:00～

文化の家 アトリウム

No. 5

MARTIN HAYES & DENNIS CAHILL LIVE

マーティン・ヘイズ & デニス・カヒル ライヴ

11月23日(月・祝) 17:00開演 文化の家 森のホール

## アイルッシュ・デイズ

No. 4

アイルッシュ・ミュージック・

ワークショップ

● 初心者編(要申込)

10月31日(土) 14:00～

ガレリアコンサートの後

文化の家 風のホール

● フォイドル経験者編(要申込)

11月23日(月・祝) 14:30～

文化の家 音楽室

● 入場料など、詳細は文化の家チラシなどを参照ください

## 劇場と思い出

長久手在住 ST

ほんと  
すぺーす

オペラあり歌舞伎ありポップスあり、なんでもありの文化の家、お世話になつていきます。劇場の記憶は私にとって自分史を振り返るうえでなくてはならないものです。学生時代親しんだ「渋谷ジャンジャン」「安部公房スタジオ」、演者の唾と汗をかぶりながらその一体感に酔い、「西武劇場」での『エクウス』『シーザスクライストス』『パースター』の迫力に圧倒された日々。『ブロードウェイ』の山です。特に「エディンバラ」のロングラン『オー・カルカッタ』、舞台に向かって左の前列に座らされ、どうしたものかと戸惑いながらも引き込まれていった思い出。帝政ロシア時代を彷彿とさせる「ポリシヨイ劇場」、舞台がはねたあと外は一面のダイヤモンドダスト、あまりの美しさに息をの

んだ。改修前の「コンセルト・ヘボール」では若き日の小林研一郎氏の指揮に、日本人としてその活躍をうれしく思ったこと。このように劇場と演目をあげただけで自分だけにわかるその時々々の生活や一緒にいた人達との思い出がどつとよみがえってきます。さて、この10年は歩いて15分、車で数分の「文化の家」が私の生活に寄り添ってくれています。親の介護の日々、2時間あれば会場に身をおきリフレッシュして豊かな気持ちで日常に戻っていく。どれほどエネルギーをいただいたことか。昨年のオランダバツハ協会の『ヨハネ受難曲』は、長久手で聴くことができ、至福の時でした。これからも生の感動を求めてお世話になります。(註・この文での「コンセルト・ヘボール」はオランダのホール名を指す)